

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいき と暮らせるまちづくり	④障がい福祉	①	障がい者の日常生活及び社会生活に 対する総合的な支援
事業名	住宅改造助成事業		担当課名	障がい福祉課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

障がい者の生活環境の整備のため、日常生活の最も基礎となる住宅の改造に必要な経費を助成することで、障がい者の生活の利便の増進を図ります。

(事業概要等)

在宅の重度障がい者が住み慣れた地域で自立し、安心して生活ができるよう、日常生活の最も基礎となる住宅の改造に必要な経費を助成します。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	133	400	65	600	
うち市負担分(千円)	67	200	37	300	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
住宅改造助成制度利用件数	件	1	2	1	2
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
住宅改造費用の助成により、在宅の重度障がい者が住み慣れた地域で暮らし続ける居住環境の整備を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成25年から、身体障がいの対象者について見直しを行った。(平成25年4月1日～) 身体障害者手帳1級若しくは2級の者又は体幹若しくは下肢機能障害3級の者がいる世帯 ⇒肢体若しくは視覚障がい1・2級の者又は、体幹若しくは下肢機能障がい3級の者がいる世帯
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
---------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい者の居住環境の整備策として一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名 ③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	基本施策名 ④障がい福祉	NO ①	施策の展開方向 障がい者の日常生活及び社会生活に対する総合的な支援
事業名	身体障がい者自動車改造助成金		担当課名	障がい福祉課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
障がい者の就労環境の整備のため、通勤等に利用する自家用車の改造に必要な経費を助成することで、障がい者の経済的自立を図る。

(事業概要等)
身体障がい者が就労等に伴い自動車を取得する場合、その自動車の改造に要する経費を助成する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	298	100	300	
うち市負担分(千円)	0	298	100	300	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
自動車改造費用助成制度利用件数	件	0	3	1	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
自動車改造費用の助成により、障がい者の就労環境の整備を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
---------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい者の就労環境の整備策として一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいき と暮らせるまちづくり	④障がい福祉	①	障がい者の日常生活及び社会生活に 対する総合的な支援
事業名	福祉タクシー事業		担当課名	障がい福祉課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

在宅の重度心身障がい者(児)の生活行動範囲の拡大と社会参加を促進し、重度心身障がい者(児)の福祉の増進を図る。

(事業概要等)

在宅の重度心身障がい者(児)に対し、タクシーの利用料金の一部(初乗り運賃相当分)を助成する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	15,582	14,242	11,155	14,253	
うち市負担分(千円)	15,582	14,242	11,155	14,253	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
タクシー券利用件数(枚数)	枚	22,835	20,654	16,538	23,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
タクシー利用料金の一部助成により、在宅の重度心身障がい者(児)の外出を促進することができた。 令和2年度の利用数の減は、コロナウィルス感染拡大予防の為、外出を控えた人が多かったためと思われる。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	①平成21年度及び22年度にタクシー配付枚数の削減を行った。 ②平成24年度外部評価の結果を踏まえ、交付対象者及び交付枚数の見直しを行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
---------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい者の社会参加のための支援策として一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画の位置づけ	政策名 ③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	基本施策名 ④障がい福祉	NO ③	施策の展開方向 障がいに対する理解を深める市民意識の醸成
事業名	身体障がい者福祉大会等実施事業		担当課名	障がい福祉課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

障がい者の学習・活動機会の充実のため、各種イベントへの支援を行い、障がい者の自立と社会参加の促進を図る。

(事業概要等)

- 身体障害者福祉大会
身体障がい者の活動の促進及び相互の親睦を図り、その福祉を増進することに資する行事を実施する。
- 障がい者レクリエーション大会(泉大津市ふれあいキャンペーン実行委員会主催)
春のイベントとして模擬店、バザーを中心とする「ふれあいフェスタ」を、秋のレクリエーションとして障がい者のグラウンド・ゴルフ大会と軽運動会の二部構成による大会を実施する。
- 泉大津ふれあい大会(泉大津市ふれあいキャンペーン実行委員会主催)
12月3日～9日までの「障害者週間」中に、障がい者への理解を深める式典、イベントを開催する。
- 阪南地区身体障害者スポーツ・レクリエーション大会
泉州8市4町の身体障害者福祉会にて構成する阪南地区身体障害者連絡協議会主催による、秋のスポーツ・レクリエーション大会に参加する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,294	1,293	116	1,325	
うち市負担分(千円)	1,294	1,293	116	1,325	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度実績値	R01年度実績値	R02年度実績値	R03年度目標値

(指標を設定できない理由)

各イベントへの正確な参加人数の把握が困難なため。

(成果の概要)

- 身体障がい者福祉大会の開催により、身体障害者福祉会会員相互の交流と親睦を図ることできた。
 - 障がい者レクリエーション大会及びふれあいフェスタの開催により、障がい者と健常者との地域での交流を促進することができた。
 - 泉大津ふれあい大会の開催により、障がい者に対する理解の向上を図ることができた。
 - 阪南地区身体障がい者スポーツ・レクリエーション大会の開催により、障がい者スポーツの振興とレクリエーションの向上を図ることができた。
- 令和2年度は障がい者レクリエーション大会およびふれあい大会について、実行委員会会議を開催し事業計画を検討していたが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、すべて中止となった。同様に他の大会についても中止となった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
---------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい者の福利厚生のためのイベントとして一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。
改革・改善策等の具体的な内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいき と暮らせるまちづくり	④障がい福祉	③	障がいに対する理解を深める市民意 識の醸成
事業名	団体等育成支援事業(障がい福祉課)		担当課名	障がい福祉課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

障がい者の総合的な支援体制の整備のため、障がい者関係団体の活動を支援し、障がい者への支援体制の整備・充実を図る。

(事業概要等)

身体障害者福祉会及び精神障害者家族会に対する活動運営補助金

【事業費】

項目／年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	326	272	150	461	
うち市負担分(千円)	326	272	150	461	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値

(指標を設定できない理由)

本事業は団体への事業補助であり、各年度の取組みに差異があり、画一的な数値化になじまないため。

(成果の概要)

障がい者の総合的な支援体制の整備のため、身体障害者福祉会及び精神障害者家族会の多彩な活動を支援することにより、身体障がい者及び精神障がい者への支援体制の充実を図ることができた。

令和2年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、障がい者福祉大会、身障福祉会社会見学や障がい者スポーツ大会が中止となった。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
---------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 長年の活動実績を有する障がい者当事者団体であり、市として適切に支援する 必要がある。
改革・改善 策等の具体 的内容		